

ぶどうのいえの「コロナ対策」について

今般の「新型コロナウイルス感染症」の世界的な大流行(パンデミック)は、私達の時代におけるグローバルな重大危機となりました。我が国でも、2019 年末より感染が拡大し、それから 3 年が経つ現在に至るまでも継続する、未曾有の事態となっています。

ぶどうのいえとしては、滞在者をはじめ施設で活動するボランティアの皆様の感染防止のために、施設全体の除菌作業の実施をはじめ各種の感染防止機器等の配備にも努めてきました。また、医師・看護師による研修会を毎年開催し、感染抑止にも心掛けて参りました。

今なお、コロナ禍の終息の見通しは付け難い状況です。けれども、滞在施設を求めている全国の利用者の皆様からの強いご要望に応じていくことが急務です。施設内外での感染防止にさらに努め、1 日も早く以前のような活動状況に戻りたいと、関係者一同、鋭意努力しています。

ぶどうのいえの施設内においては、感染防止のために「5つ約束」の励行に努めています。

新型コロナウイルス感染予防「5つ約束」(都民向け感染予防ハンドブックを参考)

- ① 施設内ではマスクを常時着用します。
- ② 施設に入ったらずぐに手を洗います。
- ③ 居室と共用スペースの十分な換気をします。
- ④ ソーシャルディスタンスを確保します。
- ⑤ 居室と使用した場所の整理整頓と消毒を行います。